

平成28年度/第33回ビジネスプラン発表会の報告

1. 開催概要

- ① 日時 : 平成29年1月25日(水) 13:30~18:00 (開場 13:00)
- ② 場所 : ホテルポートプラザちば2F「ロイヤル」
- ③ 次第 : 開会 13:30
ビジネスプラン発表会 13:40~15:20
特別講演 15:30~16:20
表彰式 16:20~16:40
名刺交換・交流会 16:50~18:00
- ④ 参加者 : 140名 (名刺交換・交流会 : 91名)

2. 開催内容

- ビジネスプラン発表会 5社、各20分 (発表15分、質疑応答5分)

発表1 (株)リオ

企業概要

- ・住所(本社) : 千葉県木更津市祇園2-24-18
(工場/事務所) : 千葉県木更津市長須賀2038-4
- ・代表取締役 : 市川正秀
- ・設立年月日 : 平成26年12月5日
- ・事業内容 : 液体燻製調味料製造・加工・販売

テーマ : 「液体燻製技術による革新的な食文化と食品製造への提案」

発表者 : 代表取締役 市川正秀 氏

プレゼン要旨 :

【特許取得技術】

燻製とは固体を燻すものであって、液体の燻製はないが、当社技術では液体を燻製できる。

【燻製工程の革新】

一般的な燻製加工工程を劇的に短縮するため優位性が非常に高い。

【食品原料の革新】

燻液や香料を使わない無添加加工の調味料を製造できるため、添加物表示の必要がなく、食品製造において扱いやすい。

【高い自由度】

どんな液体でも加工でき、チップの種類も自由に変更できるため、頭打ちなく成長できる。今後、有機JAS認定取得にも力を注ぐ。

【幅広い市場性】

燻製は新石器時代から存在するといわれている万国共通の食の香りであり、市場は世界規模である。



発表2 (株)DIGLEE

企業概要

- ・住所（本社）：東京都品川区上大崎 2-26-31
（千葉支社）：千葉県南房総市白子 2966-2
（静岡支社）：静岡県富士宮市城北 585
- ・代表取締役：寺川広貴
- ・設立年月日：平成 22 年 7 月 2 日
- ・事業内容：いちごの生産・加工・物流・販売を一気通貫で行うグループ内完結型 6 次化企業

テーマ：「地域資源を利活用した「いちごの大規模生産」による雇用創出と地域創生」

発表者：取締役 中島 博 氏

プレゼン要旨：

【新規性】

地域資源（耕作放棄地）を利活用したいちごの大規模生産。グループ内 6 次化による「高品質」、「適正価格」、「安定供給」の実現。独自の労働力確保による雇用創出と地域創生の実現

【市場性】

市場供給量の激減に伴う市場動向予測に反する当社の市場性

【成長性・優位性】

市場供給量の激減を補う当社の高確度な成長性と優位性



発表3 (株)BAN-ZI

企業概要

- ・住所（本社）：千葉市花見川区三角町 118
- ・代表取締役：宮原万治
- ・設立年月日：平成 22 年 1 月 14 日
- ・事業内容：特殊塗料の製造開発

テーマ：「世界の錆処理に革命を起こす水性錆転換塗料「サビキラープロ」

発表者：代表取締役 宮原万治 氏

プレゼン要旨：

- ・従来の錆処理剤がほとんど油性だったのに対して、サビキラープロは水性のため非可燃性で安全性が高く、匂いや環境負荷が少ない。
- ・サビキラープロは錆の上から直接塗れることが特徴で、赤錆を腐食の進行を抑える黒錆に変え、錆の再発を防ぐことができる。
- ・近年のDIYブームでホームセンターは賑わいを見せているが、家庭でも簡単に使用・保管が可能なサビキラープロはDIYの必須アイテムとなる可能性を秘めている。



- ・サビキラープロを中心とした錆処理駆使する施工部隊を立ち上げ、フランチャイズ化することで、よりの確な施工と信頼を得ていくことを狙う。施工を請負う完全子会社の株式会社 BBBS Japan 設立。(2016年1月)
- ・アメリカをはじめ海外に拠点を設け、世界へ需要を拡大する。

発表4 (株)wash-plus

企業概要

- ・住所(本社): 千葉県浦安市猫実 1-9-11-401
- ・代表取締役: 高梨 健太郎
- ・設立年月日: 平成 25 年 5 月 30 日
- ・事業内容 : コインランドリー店舗運営支援サービス、コインランドリー店舗(機器)の企画・設計等

テーマ: 「新世代 IoT 利活用型コインランドリーシステムによる革新的サービス事業の開発」

発表者: 代表取締役 高梨 健太郎 氏

プレゼン要旨:

- ・コインランドリー業界の IoT 化は遅れており、IoT を導入した店舗は国内のコインランドリー 18,000 店舗中、1,000 店舗程度である。
- ・コインランドリー4 店舗を運営してきたことによるノウハウの蓄積やユーザーの声を直接拾えることが当社の強みである。
- ・業界初の試みとして、顧客のスマートフォンをコインランドリー機器の高性能制御端末とすることで、極めて低コストに様々な付加価値を提供し、機器の稼働率向上と顧客の利便性向上を達成する新世代 IoT 利活用型システムを開発・提供する。(=スマートランドリー事業)
- ・スマートランドリー事業は本年(平成 29 年) 4 月からスタートさせ、3 年後の平成 32 年には、スマートランドリー機器導入店舗 150 店舗を目指す。



発表5 Green Earth Institute(株)

企業概要

- ・住所(本社): 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ 6 F
(支店): 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-5-9 Green Earth 研究所
- ・代表取締役: 伊原智人
- ・設立年月日: 平成 23 年 9 月 1 日
- ・事業内容 : 非可食バイオマスを原料とする化学品、バイオ燃料等の製造

テーマ: 「独創的なバイオリファイナリー技術(石油の代わりにバイオマスを原料に化学品や燃料を製造する技術)を活用した持続可能なグローバル社会の実現」

発表者：代表取締役 伊原智人 氏

プレゼン要旨：

【新規性】

- ・他のプロセスで解決できない、非可食バイオマスを商用生産に使う際に障害になっていた問題を解決した。

【市場性】

- ・バイオ燃料、グリーン化学品などのバイオリファイナリー分野は、2030年には全世界で300兆円規模の市場になりうるとされている。

【成長性】

- ・2020年に向けて、アミノ酸、化粧品用原料、バイオジェット燃料など複数の事業を立ち上げ、バイオリファイナリー分野のプラットフォーム企業となる。

【優位性】

- ・高い生産性による低コスト化が実現可能
- ・従来使えなかった、食品として利用できない非可食バイオマスを原料にできる。
- ・化学品からバイオ燃料まで多種多様な製品の製造が可能
- ・大規模発酵槽でのアミノ酸生産は、既に商用段階に達している。



●特別講演①

スピーカー：株式会社ツインズ 代表取締役 梶原隆司 氏

講演テーマ：チャレンジの機会はどこにでもある～キャタピランが生まれるまで～

講演要旨：

- ・開発には垣根がない。お客様にとって良いものが売れる。
- ・顧客の不便・不足を解消。開発のきっかけは子供。
- ・ターゲットが憧れるアスリートとのコラボによって当社のビジネスモデルを伝えている。
- ・コンテストや補助金は客観的に見直すチャンス
- ・今後、海外展示会への出展などを通じて、海外市場にもアプローチする。
- ・これからチャレンジする人たちに向けて。可能性は広げるもの。私たちは“日本人を健康にする”を目指して挑戦し続けます！



●特別講演②

スピーカー：フラ株式会社 代表取締役CEO 渋谷修太 氏

講演テーマ：ベンチャーの力で、千葉をより元気に

講演要旨：

- ・自動車だったらトヨタ、家電だったらソニーといった、日本発で世界一といえるような会社をITの世界でも創りたい。
- ・世界一、ヒトを惹きつける会社を創る。



- ・ アプリ分析支援とアプリ開発支援の2本柱で事業を展開。
- ・ 出身地である新潟のサッカーチーム、新潟アルビレックスBBラビッツ公式アプリの開発等を通じて地方創生にも力を注いでいる。
- ・ 自身が高専出身ということもあり。全国高専キャラバンを展開中。後世に遺物を残すことも使命のひとつと考えている。

●表彰式

発表会終了後事業実施委員会にて審査を行い、次の通り選定し表彰した。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| ●ベンチャークラブちば大賞
(副賞 賞金50万円) | : (株)BAN-ZI |
| ●ベンチャークラブちば準大賞
(副賞 賞金20万円) | : Green Earth Institute(株) |
| ●優秀賞(副賞 賞金5万円) | : (株)リオ |
| ●優秀賞(副賞 賞金5万円) | : (株)DIGLEE |
| ●優秀賞(副賞 賞金5万円) | : (株)wash-plus |

発表会参加者35名からアンケートの回答が寄せられ、発表者に対するコメントおよび発表会の運営などに関する意見を収集した。また審査員からも多くのコメントをいただき、参加者アンケートの回答と併せて発表企業にフィードバックした。



●名刺交換・交流会

発表会后、名刺交換・交流会を開催し、発表企業と参加者と発表内容の追加質問、意見交換の場を持った。

